平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 石原産業株式会社　　上場取引所　東
コード番号 4028　URL http://www.iskweb.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井 一孝
問合せ先責任者　(役職名) 取締役財務本部長　(氏名) 寺川 佳成　TEL 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	78,421	4.4	△1,380	―	△1,127	―	△9,940	―
25年3月期第3四半期	75,109	△0.6	△29	―	△432	―	△1,264	―

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　△8,449百万円　(―%)　25年3月期第3四半期　△1,093百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△24.85	―
25年3月期第3四半期	△3.16	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	167,208	44,608	26.7
25年3月期	177,316	53,064	29.9

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　44,608百万円　25年3月期　53,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	4.5	2,300	△17.6	1,600	△54.8	△6,800	―	△17.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
②①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	403,839,431 株	25年3月期	403,839,431 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,881,252 株	25年3月期	3,803,379 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	400,001,945 株	25年3月期3Q	400,070,304 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1 当四半期決算に関する定性的情報 2
(1) 経営成績に関する説明 2
(2) 財政状態に関する説明 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 2
2 サマリー情報(注記事項)に関する事項 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 3
(4) 重要な偶発債務 3
3 四半期連結財務諸表 4
(1) 四半期連結貸借対照表 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 8
(継続企業の前提に関する注記) 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 8
(セグメント情報等) 8

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、欧米では緩やかな回復基調が続く一方、中国やインド、東南アジア地域など新興諸国では景気減速が見られるなど、斑模様の中での越年となりました。日本経済は、政府の経済対策や金融当局の大胆な金融緩和により、円安の定着と株高が進行し、景気回復の兆しが強まる中で新年を迎えることとなりました。

当社グループの主力事業の状況は、酸化チタンでは、国内販売は底堅い需要に支えられて前年同期並みとなりましたが、海外販売が市況回復の遅れとシンガポール子会社での生産終了の影響を受けて減収となったため、売上高は前年同期比14億円減の326億円となりました。機能材料では、脱硝触媒用途や化粧品用途向け販売が好調であったことなどから、売上高は前年同期比10億円増の68億円となりました。この結果、無機化学事業の売上高は394億円（前年同期比４億円減）となりました。

一方、農薬では、近年の作物価格の上昇に伴って世界の農薬市場が拡大傾向にある中、海外販売は為替円安の影響もあって、前年同期に比べ大幅な増収となりました。欧州では、除草剤が大きく伸長した他、殺虫剤、殺菌剤とも増収となりました。米州では競合他社との競争激化が進む中、ブラジル向け殺菌剤が当第３四半期において減収となったものの、殺虫剤、除草剤の増収がこれを補いました。国内販売は前年同期並みとなりました。また受託製造する医薬原末については、前期から当期に出荷がずれ込んだ売上を当上半期に計上しました。この結果、有機化学事業の売上高は367億円（前年同期比49億円増）となりました。

建設事業の売上高は13億円（前年同期比12億円減）と大型工事が減少したことなどの影響を受け減収となりました。その他の事業の売上高は８億円（前年同期並み）となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は784億円（前年同期比33億円増）となりました。損益面では、有機化学事業は、売上増により新規剤の農薬登録申請に向けた開発費用の増加を吸収し増益となりましたが、無機化学事業では、依然価格高騰時に調達したチタン鉱石が生産原価に影響を残す中、海外市況回復の遅れも重なって減益を余儀なくされ、全体としての営業損益は13億円の損失（前年同期は29百万円の営業損失）、経常損益は11億円の損失（前年同期は４億円の経常損失）、四半期純損益はシンガポール子会社の生産終了に伴う関係会社整理損117億円を特別損失に計上したことなどから99億円の純損失（前年同期は12億円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて101億円減少して1,672億円となりました。流動資産は、66億円減少し989億円となりました。これは、現預金が59億円増加しましたが、たな卸資産が132億円減少したことなどによるものです。固定資産は、前連結会計年度末と比べて35億円減少の682億円となりました。これは、シンガポール子会社の固定資産減損などで有形固定資産が75億円減少しましたが、繰延税金資産が39億円増加したことなどによるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて16億円減少し1,225億円となりました。これは、長短借入金・社債が46億円減少、フェロシルト回収損失引当金が16億円減少しましたが、支払手形及び買掛金が35億円増加したことなどによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末と比べて84億円減少の446億円となりました。これは為替換算調整勘定が13億円増加しましたが、四半期純損失99億円を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の通期の業績予想については、第３四半期連結累計期間の業績及び今後の見通し等を踏まえて、平成25年11月８日に公表しました個別業績予想と平成25年11月20日に公表しました連結業績予想をそれぞれ修正しました。詳細は平成26年２月12日に別途公表しました「営業外収益（為替差益）の計上及び通期業績予想の修正（連結及び個別）に関するお知らせ」をご参照ください。

2 サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 重要な偶発債務

当社四日市工場内の土壌・地下水の汚染修復対策並びに工場内に存在すると推定される埋設物への措置費用については、当四半期累計期間に支出した費用及び当四半期末において合理的に見積もられる範囲内の費用を特別損失に計上し、それ以外で現時点において合理的に見積もることができない恒久的な汚染修復対策の費用及び埋設物の措置費用は計上しておりません。

1 四日市工場内における土壌・地下水汚染への対応

コンプライアンス総点検後に実施した当社四日市工場内の土壌・地下水調査の結果、主に過去の生産活動に由来すると考えられる汚染が判明したため、当社は三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出書を、所管する四日市市に提出しました。その後、第三者の学識経験者による環境専門委員会の指導と助言の下、汚染状況及び汚染源の特定に関する調査、汚染の拡散防止策にかかわる設計データを収集してきております。

平成24年度までに、原因物質の除去や不溶化の工法検討のための試験施工を経て、汚染地下水の拡散を防ぐための揚水設備と水処理設備を設置しました。さらに試験的な揚水を経て、本格的な揚水を段階的に開始した他、これまでの調査や試験結果などに基づく新たな試験施工にも着手しました。

平成25年度は拡充した揚水設備による本格揚水の継続と、追加の揚水浄化処理設備の設置検討、不溶化の試験施工結果を受けた現場適用検討など、具体的な汚染修復対策についての検討を継続します。

2 四日市工場内に存在すると推定される埋設物への対応

コンプライアンス総点検において公表した、四日市工場内において撤去を要すると考えられる埋設物等の現時点における調査結果は、下記項目に記載のとおりであります。将来的に一定の範囲での業績への影響は避けられないものと考えていますが、当該場所を含め工場内各所の空き地が、広くフェロシルトの仮保管場所となっている状況下では、効率的に詳細調査を継続することができず、現在も埋設物の種類・性状・埋設量等の全体概要の確認には至っておりません。

このような現状に鑑み、下記案件についての埋設物の埋設位置・範囲・性状・数量の特定や適切な撤去方法など更なる細部検討は、四日市工場内で仮保管中であるフェロシルトの最終処分が完了する平成27年度以降とし、それまでの間は、現在も実施している周辺環境への影響を継続的にモニタリングしてまいります。

①第２グラウンドの埋設物

当該場所は、過去に沈澱池として使用されていた経緯から、合法的に処理された廃棄物も存在しており、これらと違法性の認められる埋設物を峻別の上撤去することとなります。埋設物の位置を特定するための確認調査の過程で、地中での金属反応と他の地層と異なる地質が存在することを確認しており、ボーリング及び試掘調査を実施した結果、一部の廃棄物（金属物）の埋設が確認されています。

②旧ＳＲ（合成ルチル）工場跡地の無機性汚泥など

同工場跡地で仮保管していた施工地からの回収フェロシルトは、平成21年１月から搬出を開始し、搬出が完了した区画で一部掘削を実施しました。一部の掘削区画からは無機性汚泥が確認されています。

3 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,312	23,288
受取手形及び売掛金	25,611	26,591
商品及び製品	31,653	26,209
仕掛品	6,822	4,886
原材料及び貯蔵品	20,683	14,825
繰延税金資産	1,877	1,584
その他	1,789	1,768
貸倒引当金	△178	△185
流動資産合計	105,570	98,969
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	22,911	19,073
その他（純額）	32,134	28,412
有形固定資産合計	55,046	47,486
無形固定資産	284	225
投資その他の資産		
投資有価証券	4,885	4,829
繰延税金資産	9,106	13,105
その他	2,510	2,681
貸倒引当金	△87	△90
投資その他の資産合計	16,415	20,527
固定資産合計	71,745	68,238
資産合計	177,316	167,208

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,939	15,506
短期借入金	39,346	36,871
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	318	251
フェロシルト回収損失引当金	2,466	2,537
関係会社整理損失引当金	－	1,954
その他の引当金	598	131
その他	9,842	9,635
流動負債合計	64,713	67,089
固定負債		
社債	1,400	1,300
長期借入金	39,325	37,250
退職給付引当金	8,634	9,123
フェロシルト回収損失引当金	5,393	3,700
その他の引当金	591	675
その他	4,193	3,459
固定負債合計	59,538	55,510
負債合計	124,251	122,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	2,163	△7,776
自己株式	△681	△687
株主資本合計	55,529	45,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	357
繰延ヘッジ損益	△64	△44
為替換算調整勘定	△2,674	△1,318
在外子会社年金債務調整額	28	32
その他の包括利益累計額合計	△2,464	△973
純資産合計	53,064	44,608
負債純資産合計	177,316	167,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
売上高	75,109	78,421
売上原価	59,790	63,428
売上総利益	15,319	14,992
販売費及び一般管理費	15,348	16,373
営業損失（△）	△29	△1,380
営業外収益		
受取利息	34	35
受取配当金	95	86
為替差益	1,468	2,369
長期未払金一括返済益	317	－
その他	176	148
営業外収益合計	2,092	2,640
営業外費用		
支払利息	1,395	1,325
持分法による投資損失	295	279
その他	803	782
営業外費用合計	2,494	2,387
経常損失（△）	△432	△1,127
特別利益		
固定資産売却益	－	8
投資有価証券売却益	－	44
特別利益合計	－	53
特別損失		
固定資産処分損	430	208
関係会社整理損	－	11,714
その他	6	175
特別損失合計	437	12,098
税金等調整前四半期純損失（△）	△869	△13,173
法人税、住民税及び事業税	331	435
法人税等調整額	64	△3,668
法人税等合計	395	△3,233
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,264	△9,940
少数株主損失（△）	△0	－
四半期純損失（△）	△1,264	△9,940

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,264	△9,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	111
繰延ヘッジ損益	9	19
為替換算調整勘定	184	1,125
在外子会社年金債務調整額	△0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	230
その他の包括利益合計	171	1,490
四半期包括利益	△1,093	△8,449
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,093	△8,449
少数株主に係る四半期包括利益	△0	－

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	39,901	31,815	2,634	757	75,109	―	75,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	978	746	1,724	△1,724	―
計	39,901	31,815	3,613	1,503	76,834	△1,724	75,109
セグメント利益又は損失（△）	648	826	△257	107	1,325	△1,354	△29

（注）１ 調整額は、次のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額△1,354百万円には、セグメント間取引消去180百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,535百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２　地域に関する情報

売上高　（単位：百万円）

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
33,658	15,416	10,425	15,408	201	75,109

（注）１ 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
２ 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール
(2) 米州　：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
(3) 欧州　：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	39,471	36,772	1,354	821	78,421	―	78,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	―	700	676	1,377	△1,377	―
計	39,472	36,772	2,054	1,497	79,798	△1,377	78,421
セグメント利益又は損失(△)	△1,783	1,441	△45	116	△269	△1,110	△1,380

（注）１ 調整額は、次のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額△1,110百万円には、セグメント間取引消去171百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,282百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２　地域に関する情報

売上高　（単位：百万円）

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
33,259	13,011	12,441	19,602	105	78,421

（注）１ 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
２ 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール
(2) 米州　：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
(3) 欧州　：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「無機化学事業」セグメントにおいて、連結子会社ISK SINGAPORE PTE. LTD.での生産終了と会社清算に向けた準備手続き開始に伴い、5,808百万円の固定資産減損損失を計上しております。